

「2017徐福文化与健康ワールドフォーラム」報告

(当フォーラムは、「中国贛榆第十回徐福の故郷海洋文化節」の一環として開催)

日時：2017年10月28日、29日

場所：連雲港市贛榆(カユ)区 和安湖大酒店

主催：中国贛榆第十回徐福の故郷海洋文化節実行組委會

参加者：

- ・日本徐福協会関係参加者
佐賀県徐福会(廣橋時則、水間祥郎)、新宮徐福協会(丹羽生)、遠志保、富士山徐福学会(早川宏)、神奈川徐福研究会(田島孝子、伊藤健二)、
- ・その他日本側参加者
佐野真理子(池田市立系郷学園教授)(氏名、肩書きは、主催者資料による)
須田育邦(主催者資料では、佐賀県徐福会理事となっているが、誤り。)
- ・韓国 韓国韓中親善協会 李世基会長、済州徐福文化国際交流協会 金享受会長等
- ・中国 江蘇省の幹部、中国徐福会の張雲方会長等の徐福関係者、歴史学者等多数
特別招待者：華雪梅(神奈川大学大学院生)



1. フォーラム開会式

10月27日午前(和安湖国際大酒店華榮庁)

- ・司会者：連雲港市贛榆区委常委 許思文)
- ・幹部及び来賓あいさつ
在中国日本大使館の四方敬之公使 等
- ・鳩山由紀夫氏の書道作品贈呈式
(日本徐福協会田島会長から贈呈)



鳩山由紀夫氏書の贈呈式

2. フォーラム主旨発言(司会者:楊東昇連雲港市社連主席)

- ・徐希平 奥薩医薬理事長
- ・金兌泳 韓国慶南発展研究員委員、観光博士
- ・遠志保 愛知県立大学講師 博士
- ・戚貴森 中国徐福会副会長

○達志保氏の講演題目は、「日中国交正常化をめぐる徐福伝説」

今年は日中国交正常化 45 周年であり、新宮市の戦後からの絶え間なく続く徐福伝説をめぐる動きの具体的な説明があった。伝説といえども国家間の政治的影響を受けるものである。

また、新宮市では徐福活動の記録を保存しているが、各地の徐福研究においても、継続して記録保存が求められる。



達志保氏の講演

3. 徐福文化与健康世界フォーラム学術交流

- ・ 10月27日午後（和安湖国際大酒店第一会議室）
- ・ 12名が講演、10名に対して荣誉賞が受賞された。受賞者は、金亨受、劉鳳桂、劉成文、佐野真理子、趙鳴、单会府、曲玉雄、華雪梅、樊士進、葛均坡（敬称略）

○華雪梅氏講演の題目：東アジア歴史上の徐福伝説の発展と変化—紀伊半島の徐福伝説を中心に

日中韓に残る徐福文献、特に熊野地方に関する文献を詳細に分析した論文。徐福が日本にきたという伝説は、徐福から千年後の『義楚六帖』の出版以降、急速に東アジア各地に広まったが、江戸時代の朝鮮通信使の記録などから、始皇帝の抗需焚書により失われた中国の文献が日本にあるはずだ、などの議論がわき起こってきた。このほか、熊野の徐福は漢詩などにも詠われ、日中韓の文人の興味の対象となってきた。

○佐野真理子氏講演の題目：徐福東渡から見た、日中交流の起源

徐福が日本にきたことが書かれた文献では、徐福が平和的に文明を伝えたことが、記され、また歴史上でも大陸渡来人と混血して現代の日本人、日本文化となった。日中友好の為にも、歴史教育に徐福を取り入れるべきだ。



華雪梅氏の講演



荣誉証書

4. 徐福陳列館見学（10月28日午前）

昨年、贛榆区の博物館の一角に、徐福文化陳列館が開館した。

日本からも、徐福関連の書籍等を提供し、また日本のコーナーも設けられ、日本側で徐福研究に貢献した、羽田元総理はじめ、日本の研究者なども紹介されている。



「徐福文化陳列館」の看板



←右奥が日本の徐福文化の紹介コーナー



←日本の徐福関係図書類
 この他、日本から送った多くのDVDも展示されている。

参考1:参加者の集合写真

(特殊なカメラでワイドに一枚で撮影したものであるが、ここでは三分割して表示した)

第十届徐福故里海洋文化节 「徐福文化与健康世界」 主题论坛与会嘉宾合影

2017.10 赣榆



報告者 日本徐福協会事務局 伊藤健二 2017.11.19